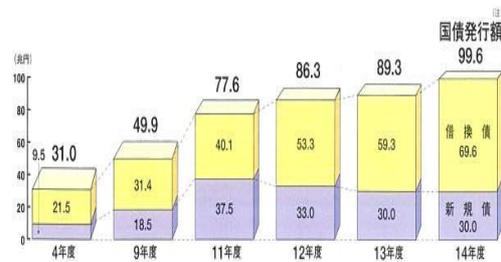
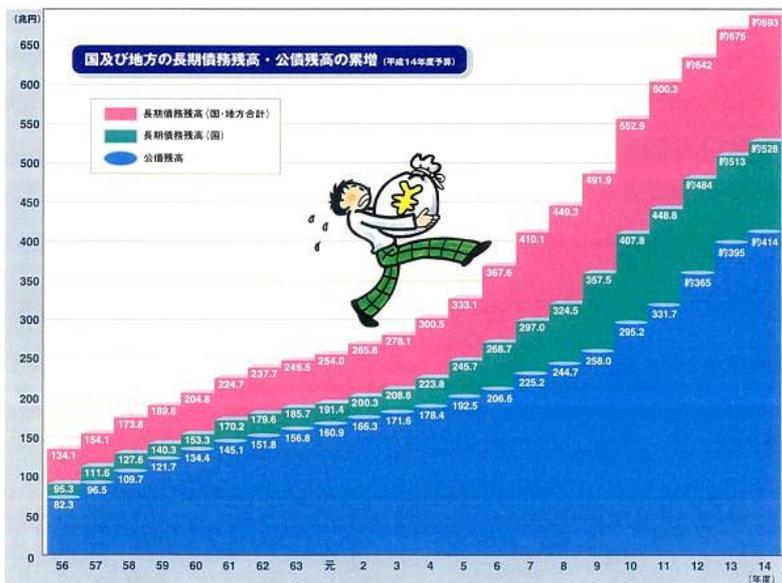


# どんどん増えてく、国・地方の借金

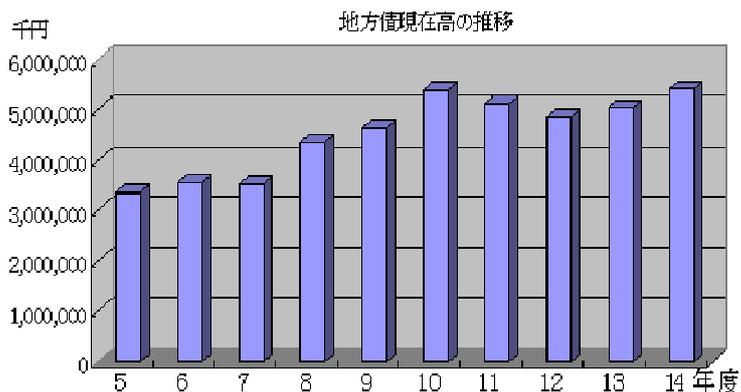


新しく借金をするのは30兆円ですけれど、今までの借金が返せないので、100兆円近く国債を発行しています。要するに借金を返すのに、借金で返しているのをあらわしているのがこのグラフです

## 誰が払うのでしょうか！？

### 美和長の地方債残高の推移

日本は、自治体による格差を防ぐために、地方債の起債を積極的に認め、その償還金を担保に、地方交付金を使えるようにしています。地方債は交付税の前借のようなもので、国が認めた事業をするために起債される場合がほとんどです。(国の借金の肩代わり！？)



# 横井としおのまじめ話

Vol.2

### 前回 (Vol.1) のあらまし

私たちの国には約700兆円もの借金があって、それは4人家族で、2,332万円の借金になります。年収500万円の家が、800万円使う癖がついて、毎年300万円ずつ借りているうちに7000万円もの借金を作ってしまったのと同じです、と書きました。いつかは、払わなければならなくなる、それは増税となるでしょう、と言ったのですが、もっとひどいことになる可能性もあります。それは、日本の倒産です

### (Vol.2)

みなさんは覚えていますか、かつてソビエト連邦が崩壊したときを.....

当時のTVニュースで、今も鮮明に思い出すのは、大きなゴミ集積場の中をおばあさんが食べ物を求めてさまよっているシーンです。高く積まれたゴミの山から、食べ残しのパンをあさる姿がまぶたから離れません。

それまで世界の二大国と、アメリカと覇権を争っていた国の凋落振りが、今後の日本の姿と重なって見えるのは杞憂なのでしょうか、私たちの子供や孫に、そんなおもいをさせることは、本当にならないのでしょうか。

子供や孫たちに、今の世代が作った借金を残しておくことに、疑問をもたなくて良いのでしょうか。

「どうしてこうなったのだろう」

不景気になったときには、政府が借金をしてでもお金を使うことで、景気の導火線の役割をすれば、後は景気よくなって、税収の自然増で、借金の返済ができる。だからどんどん公共事業を増やすべきだ……

と、この30年間言い続けられてきました。昭和48年、田中内閣が組んだ大型予算以降、多少の凸凹はあるものの、不況下の財政施策の常識として定着しています。少し不況になると「**公共投資拡大、減税**」のお題目が唱えられ、それに迎合する施策がとられる体質になっていること。好景気には、税収が増えたのだから「**公共投資拡大、減税**」ができる、と要求してきたのです。これでは**借金は増える一方**ですよ。

しかも、隣の米(アメリカ)さんも、もっと使ってくれないと私のところまで調子悪くなるわと、事あるごとに口を出してきます。

そんなにお金を使っているのだったら、もっと景気よくなってもよさそうなのですが……

景気よくなるためにはそこで使ったお金が、次にお金を**呼び水**になってなければならないのです。

たとえば、道路を作る。これは便利になったと、たくさんの方が通る。その結果、車を買う人がでてきたり、道沿いにお店ができたり住宅が建つてことになって、始めて景気よくなっていくのです。が、熊や猿しか通らない道や橋を作っても、次の投資をまねかないのです。ほとんど使われることのない**公共施設**や、料金が高すぎて嫌われている**有料道路**も同じです。**無用の長物**を作っても、景気回復の役に立たないのです。

「何故そんな役に立たない事をするのだ」と言いたくなりますよね。**問題は既得権**というやつなのです。

もちろんそんな権利が認められているわけではないのですが、予算配分で、各省庁のパーセンテージがほとんど変わらないということは、**既得権**があるということでしょう。事が**硬直化**しているという証明でもあるのでしょうか。

**道路や建物が本当に必要かどうかで決めるよりも、各々の省益、既得権である予算を消化するために事業が進められてきた。**そう言えるのではないのでしょうか？

こんな政策じゃ景気回復はほど遠いですよ。景気回復することなく、税の自然増は望むべくもないままに、莫大な借金だけが残った状況が今なのです。

何とか改革しなくちゃ、少しでも効率を良くしよう、既得権のかべを打ち破ろう、と出てきた話が国においては**省庁再編**です。地方においては**地方分権**です。

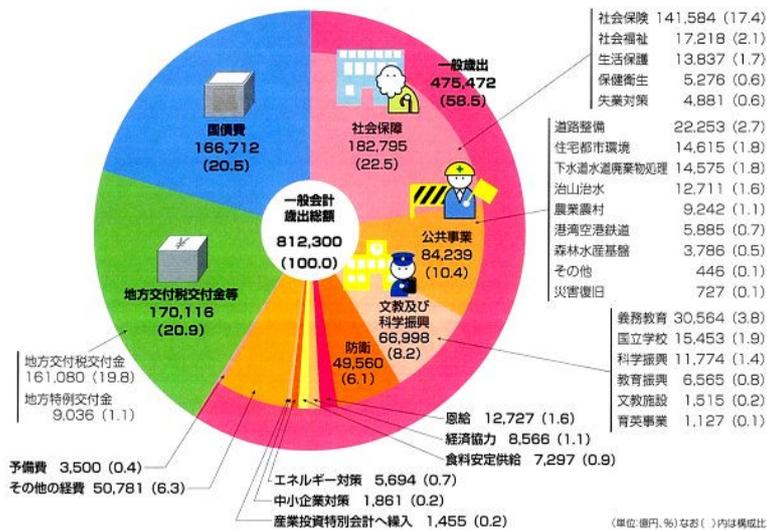
**地方のことは地方に任せよう。**必要か必要でないかは、実際に携わっている人たちが決めれば、ずっと効果的だと考えたのですが、現実的には**権限を任す受け皿**になるには、自治体の単位が小さすぎます。今のままでは効率も上げられない。また生活圏の大幅な変化がある。ここから出てきたのが**市町村合併**の話です。

ちなみに、4月1日に11件の合併が行われ、全国の市町村数は3,212から3,190になりました。まだ始まったばかりです

合併をして、**地方に主権**を持たせることで、**もっと効率の良い国**を作る。そんな希望があるように思います。が、既得権を持つ人の抵抗は強く、なかなか変わることができないような雲行きです。果たしてこの国の改革はかなうのでしょうか。

今回は「**やっぱり変わらなきゃ**」というテーマで…

### 国のお金の使い



1. このパンフレットを読んで

前号(Vol.1)を送って欲しい

2.

はい

3. 行政

市町村合併  教育問題  環境問題  税金